

平成 26 年度 播磨町水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で 142 栓 (0.9%) 増の 15,471 栓、給水人口は 31 人 (0.1%) 減の 34,717 人となりました。なお、年間有収水量は、28,280³ (0.8%) 減の 3,572,941³ となっており、給水装置数が増加したものの給水人口の減少と節水意識の高揚にともなって減少しております。

水道施設の構築については、町道浜幹線の道路新設に伴う配水管布設工事を継続施工し、大中地区 (第 32 工区) 管渠布設工事に伴う配水管布設替工事や大中地区 (第 31-2・32-2 工区) 管渠布設工事に伴う導・配水管布設替工事などを行いました。また、第 3 浄水場においては、配水ポンプ設備更新工事を行いました。

経営状況 (税抜) は、総収益が 618,690,301 円に対して、総費用が 572,972,588 円で、当年度純利益 45,717,713 円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金 505,782,587 円 (81.7%)、長期前受金戻入 (※注) 87,995,480 円 (14.2%) で、収益全体の 95.9% を占めています。一方、水道事業費用の主なものは、企業債利息 31,927,327 円 (5.6%)、減価償却費 209,723,412 円 (36.6%)、職員給与費 62,036,359 円 (10.8%)、県水受水費 60,775,199 円 (10.6%)、動力費 43,855,166 円 (7.7%) で費用全体の 71.3% を占めています。以上の結果、供給単価は 141.56 円、給水原価は 157.84 円になりました。

資本的収支 (税込) の総収入額が 187,781,738 円に対して、支出が建設改良費 327,765,211 円、企業債償還金 94,922,063 円、投資 100,000,000 円で、総支出額 522,687,274 円となりました。なお、不足の 334,905,536 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 19,929,265 円、建設改良積立金 23,600,000 円、過年度分損益勘定留保資金 291,376,271 円で補てんしました。

以上が、平成 26 年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても、町民に清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図るため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共福祉の向上に努める所存です。

(※注) 地方公営企業会計制度の見直しにより、平成 26 年度から償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等については、「長期前受金」として負債 (繰延収益) に計上した上で、減価償却見合い分を「長期前受金戻入」として順次収益化する。(地方公営企業法施行令第 26 条、地方公営企業法施行規則第 21 条)